

既存ブロック塀等安全点検結果報告書

既存ブロック塀等を点検した結果、不適合となる項目があったので、次のとおり報告します。

申請者 \_\_\_\_\_

点検者 \_\_\_\_\_

補強コンクリートブロック造の塀の場合

点検項目		点検内容	点検結果	
1	塀の高さ	地盤から2.2m以下である。	はい	いいえ
2	塀の厚さ	10cm以上である（2mを超え2.2m以下の場合 は、15cm以上である。）。	はい	いいえ
3	控え壁	【塀の高さが1.2mを超える場合のみ】 塀の長さが3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5 以上突出した控え壁がある。	はい	いいえ
4	基礎	コンクリートの基礎がある。	はい	いいえ
5	塀の健全性	塀に傾きやひび割れがない。	はい	いいえ
【以下の項目は、項目1～5の全てが「はい」の場合のみ回答】				
6	鉄筋等	本項目の基準を確認できる図面がある。	はい	いいえ
		【以下は、図面がある場合のみ回答】		
		塀の中に直径9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm 以下の間隔で配筋されており、縦筋は壁頂部及び基 礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けがされ ている。	はい	いいえ
		【塀の高さが1.2mを超える場合のみ】 基礎の根入れ深さが30cm以上である。	はい	いいえ

組積造（コンクリートブロック造、石造、レンガ造等）の塀の場合

点検項目		点検内容	点検結果	
1	塀の高さ	地盤から1.2m以下である。	はい	いいえ
2	塀の厚さ	壁頂部までの距離の1/10以上ある。	はい	いいえ
3	控え壁	塀の長さが4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上 突出した控え壁がある。	はい	いいえ
4	基礎	基礎がある。	はい	いいえ
5	塀の健全性	塀に傾きやひび割れがない。	はい	いいえ

